

三重県で採られたイネ科の不明外来種 *Rytidosperma racemosum*

会長 勝山輝男

2002 年に松本雅人氏が三重県鈴鹿市で採集されたイネ科の不明外来種が手元に残っていた。標本を受け取った際には、護穎の背面に横断状に生える毛列、護穎の先が 2 中裂して側裂片が長く伸びて目立つこと、その湾入部から基部が振れた長い芒が伸びることなどから、オーストラリア原産の *Danthonia pilosa* R.Br. に似ていることまで調べたが、種名を確定するまでには至らなかった。今回、もう一度調べなおしてみた。その結果、花序が総状で疎らなこと、内穎が護穎の湾入部よりも長く、上方の小花は苞穎よりも高く、葉耳の毛は長さ 1mm 程度のことが多く、長くても 3mm 以下であることなどからオーストラリア原産でニュージーランドや北アメリカに帰化している *Rytidosperma racemosum* (R.Br.) Connor et Edgar (Syn. *Danthonia racemosa* R.Br.) と半断した。

『神奈川県植物誌 2018』のイネ科の亜科 (subfam.) や連 (tribe) の配列は Soreng et al. (2015) に従っているが、その分類体系ではイネ科には 12 亜科、51 連が認められ、*Danthonia* 属や *Rytidosperma* 属は *Danthonioideae* 亜科 (*Danthonieae* 連のみからなる) に属している。この亜科はカゼクサ亜科に近縁で、主に南半球を中心に約 20 属、293 種からなり、日本に在来種はなく、アメリカカニツリ *Danthonia spicata* (L.) P.Beauv. 1 種のみが栃木県と徳島県から報告されている (茨木, 2006)。アメリカカニツリは護穎は全体に有毛で、上方の小花は苞穎よりも低い。*Rytidosperma* 属は以前は *Danthonia* 属に属していたが、護穎に横断状に毛列があるものは本属に移されている。

以下に三重県で採集された標本に基づいた形態を記す。

***Rytidosperma racemosum* (R.Br.) Connor et Edgar**

叢生し、高さ 30~80cm、葉や鞘部には疎らに毛がある。葉は稈よりも短く、細くて多くは内巻し、葉舌は短毛状、葉耳に長さ 1~3mm の毛がある。花序は疎らな総状で稀に枝を生じ、長さ 5~10cm。小穂は長さ 10~13mm、5~8 小花からなる。2 個の苞穎は長さ 9~10mm でほぼ同長、上部の小花は苞穎より突出する。護穎は先が大きく 2 裂し、側裂片は先が急に狭くなって芒となり、基部から側裂片の芒の先まで長さ 10~13mm、基部は長さ 1.5mm の柄状、護穎本

体(基部から湾入部まで)の長さは 3.5~4.5mm、湾入部からは基部が振れた太くて長さ約 10mm の芒が伸び、護穎の柄の基部、柄の最上部、背面中央部少し上に横断状に毛列がある。内穎は護穎の湾入部より少し高い。

標本: 三重県鈴鹿市旭ヶ丘 2002 年 9 月 10 日 松本雅人 (KPM-NA0221921); 2002 年 9 月 13 日 (KPM-NA0221922); 2005 年 9 月 14 日 (KPM-NA0216185); 東旭ヶ丘 2004 年 6 月 27 日 太田久次 Ohta-1590 (KPM-NA022195)。

文 献

Darbyshire, S. J. & H. E. Connor, 2003. *Rytidosperma*. in Flora of North America editorial committee ed., Flora of North America, North of Mexico. Vol.25. pp.309-312.

茨木靖・佐治まゆみ・成田愛治, 2006. 徳島県から発見された帰化植物 アメリカカニツリ. 徳島県立博物館研究報告, (16): 157-158.

Renfrey, A. P. C., 1986. *Danthonia* Lam. & DC. in Jessop J.P. & H.R. Toelken eds., Flora of South Australia Part 4, Fourth ed. pp.1857-1864. South Australian Government Printing Division, Adelaide.

Soreng, R.J. et al. 2015. A worldwide phylogenetic classification of the Poaceae (Gramineae). J. Syst. Evol. 53(2): 117-137.

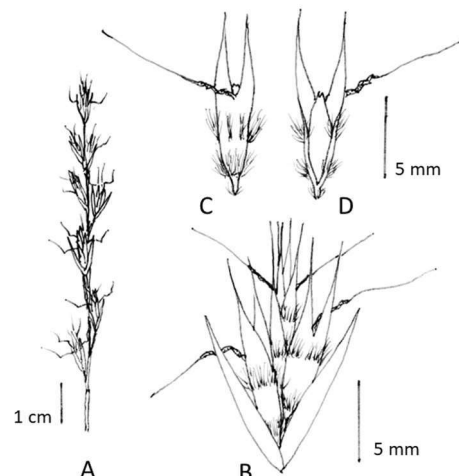


図. *Rytidosperma racemosum*

A: 花序 B: 小穂 C: 護穎背面 D: 護穎腹面と内穎